

## 2) 診療科別 診断群分類別 症例数トップ5 【2016年度】

2016年度<2016年4月1日～2017年3月31日退院患者>

診療科名称	DPCコード	DPC名称	症例数	平均在院日数	全国平均在院日数	転院率	平均年齢
内科	040081xx99x00x	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2ーなし 副傷病なし	93	46.49	21.25	3.23%	84.08
	050130xx99000x	心不全 手術なし 手術・処置等1ーなし 手術・処置等2ーなし 副傷病なし	61	24.25	17.95	1.64%	82.69
	110310xx99xx0x	腎臓または尿路の感染症 手術なし 副傷病なし	41	19.90	12.43	0.00%	75.51
	0400801499x002	肺炎等(市中肺炎かつ75歳以上) 手術なし 手術・処置等2ーなし 副傷病なし	30	29.73	15.29	0.00%	84.27
	060340xx03x00x	胆管(肝内外)結石、胆管炎 限局性腹腔膿瘍手術等 手術・処置等2ーなし 副傷病なし	30	11.17	11.06	0.00%	70.97

### <解説>

内科の症例数で最も多いのが、誤嚥性肺炎です。誤嚥性肺炎とは、高齢者や脳梗塞後遺症などで、嚥下(飲食物を飲み込む)機能が衰えている方に起こりやすい肺炎です。また、心不全、尿路感染症、肺炎なども高齢者に多い症例です。これらは、繰り返し発症する可能性もあります。当院では急性期治療終了後、必要に応じ慢性期病棟へ転棟し、継続した治療とケアを実施しています。

2015年度と比較すると、胆管炎の症例も増加しました。これは消化器科医師の増員により診療体制が充実したものと考えられます。

診療科名称	DPCコード	DPC名称	症例数	平均在院日数	全国平均在院日数	転院率	平均年齢
外科	060102xx99xxxx	穿孔または膿瘍を伴わない憩室性疾患 手術なし	40	6.78	7.89	0.00%	62.98
	060190xx99x0xx	虚血性腸炎 手術なし 手術・処置等2ーなし	25	8.04	9.19	0.00%	69.36
	060335xx02000x	胆嚢水腫、胆嚢炎等 腹腔鏡下胆嚢摘出術等 手術・処置等1ーなし 手術・処置等2ーなし 副傷病なし	24	6.63	7.61	0.00%	54.42
	060150xx03xxxx	虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの等	24	5.63	5.60	0.00%	42.42
	060035xx01000x	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術等 手術・処置等1ーなし 手術・処置等2ーなし 副傷病なし	23	13.13	15.92	0.00%	71.65

### <解説>

外科では、結腸の憩室性疾患や虚血性腸炎が多い症例です。手術は、開腹手術のみならず、胆嚢切除、虫垂切除、鼠径ヘルニアなどの手術をはじめ、悪性腫瘍による結腸切除術も腹腔鏡下手術を行っています。また、結腸切除後の絶食期間を短縮し、早期退院を目指すERAS(Enhanced Recovery After Surgery)プログラムも実践しており、平均在院日数も全国平均より、やや短く早期に退院していることがわかります。

診療科名称	DPCコード	DPC名称	症例数	平均在院日数	全国平均在院日数	転院率	平均年齢
整形外科	160800xx01xxxx	股関節大腿近位骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	106	68.35	27.63	4.72%	83.68
	160690xx99xx0x	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰椎損傷を含む。) 手術なし 副傷病なし	101	53.57	20.57	2.97%	82.12
	160980xx99x0xx	骨盤損傷 手術なし 手術・処置等2ーなし	28	50.75	20.45	3.57%	80.57
	160760xx97xx0x	前腕の骨折 手術あり 副傷病なし	20	11.35	5.49	0.00%	55.05
	160740xx97xx0x	肘関節周辺の骨折・脱臼 手術あり 副傷病なし	19	6.11	5.33	0.00%	34.26

### <解説>

整形外科の上位3症例は、いずれも平均年齢が80歳を超える高齢患者さんであることがわかります。これらの症例は、高齢化社会に伴い、年々増加することが見込まれること、また容易に退院できないため、当院では急性期から回復期まで継続して治療を行ない、患者さんのADL(日常生活動作)が回復できるよう、多職種スタッフが一丸となって医療看護を提供しています。

診療科名称	DPCコード	DPC名称	症例数	平均在院日数	全国平均在院日数	転院率	平均年齢
脳神経外科	010060x2990401	脳梗塞(脳卒中発症3日目以内、かつ、JCS10未満) 手術なし 手術・処置等1ーなし 手術・処置等2ー4あり 副傷病なし	57	21.51	16.54	1.75%	74.72
	030400xx99xxxx	前庭機能障害 手術なし	55	4.47	5.24	1.82%	68.20
	010230xx99x00x	てんかん 手術なし 手術・処置等2ーなし 副傷病なし	23	11.22	7.12	0.00%	68.30
	010061xxxxx0xx	一過性脳虚血発作 手術・処置等2ーなし	23	7.91	6.38	4.35%	77.83
	010040x099x00x	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)(JCS10未満) 手術なし 手術・処置等2ーなし 副傷病なし	22	56.55	19.35	4.55%	73.82

### <解説>

脳神経外科では、脳梗塞と前庭機能障害(耳の前庭系の平衡障害いわゆるめまい)が上位症例となっています。当院ではMRI(磁気共鳴画像診断装置)を2台体制としており、脳梗塞の早期発見に努めています。また、急性期治療後に必要に応じて回復期リハビリテーションを行い、在宅復帰を目指しています。

### <集計方法と定義>

- ◆対象患者は一般病棟に1回以上入院した、医科レセプトのみの患者です。
- ◆入院後24時間以内に死亡した患者さんは対象外です。
- ◆症例数が10未満の数値の場合は、-(ハイフン)で表示しています。
- ◆各診療科別に患者数の多いDPC14桁分類についてDPCコード、名称、患者数、自院の平均在院日数、全国の平均在院日数、転院率、平均年齢を示しています。
- ◆一般病棟の中における転科においては、主たる診療科は医療資源を最も投入した傷病の診療科で集計しています。